

資金協力事業/開発課題別の指標例（栄養）

栄養分野には開発課題体系図（課題別指針）がないため、開発戦略目標に相当する目標を大項目、中間目標に相当する目標を中項目、中間サブ目標に相当する目標を小項目として整理している。

大項目	中項目	小項目	インフラ種別	指標作成方針・方法	同インフラ種別毎の参考案件			
					国名	案件名	評価年度	
1. 母子の低栄養の改善（子どもの発育障害、消耗症、女性の貧血症）	1-1. 世帯レベルでの食生活、食料安全保障改善	農業生産性増強による食料アクセス改善	灌漑施設の整備	<p>運用指標</p> <p>①受益面積 (ha) ②灌漑率（その圃場に灌漑用水が届いている率）</p> <p>効果指標</p> <p>①主要農作物別生産高（トン/年） ②主要農作物別単収（トン/ha） ③戸当たり農業粗収益額（円/年/戸） ④作物別作付面積 (ha)</p>	<p>運用指標</p> <p>①受益面積：事業により受益をうける地域の耕地面積であり、一般的には灌漑・排水施設が整備され、その恩恵を受ける耕地面積。（灌漑・排水施設が計画通り実施されたかを確認） ②灌漑率：受益面積に対して灌漑用水が配水されている灌漑面積の割合。2期作が行われている場合には、雨季の灌漑率と乾季の灌漑率は分けて考えるべき。（計画通りに水配水が実施されているかを確認）</p> <p>効果指標</p> <p>①主要農作物別生産高：受益地域全体の作物別生産高（雨季/乾季）を確認する。 ②主要農作物別単収：単期作物毎（雨季/乾季）等の値を計上 ③戸当たり農業粗収益額：モデル的な農業経営を設定の上、戸当たりの年間の農業粗収益額を算定したもの。農業粗収益額＝作物別生産高 × 作物別価格（農家受取価格）なお、生産費に係るデータ取得が可能な場合は「戸当り農業所得額」に代えるものとする。 ④作物別作付面積：受益地域における作物ごとの作付面積の総和。なお、一般的に雨季・乾季等、季節毎に作物別の作付面積が異なることから、季節別に面積を把握する。</p> <p>※参考：今後の栄養センシティブ事業の指標例</p> <p>①最低食事水準（Minimum Acceptabel Diet: MAD） ②摂取食品多様性の最低基準（Minumum Dietary Diversity : MDD） ③摂取食品多様性スコア（Dietary Diversity Score: DDS） ④一日の食事回数（Minimum Meal Frequency: MMF）</p> <p>①MADはMDDとMMFの合成指標。2歳未満児対象。調査手法、基準に関しては、下記参考文献1, 2を参照。 ② 子供が対象の場合、家族やCaretakerによる子供へのケアの指標となる。調査手法、基準に関しては、下記参考文献1, 2を参照。 大人の女性が対象の場合、上記とは別基準の（Minimum Dietary Diversity -women of reproductive age: MDD-W）がある。調査手法、基準に関しては、下記参考文献3を参照。 ③調査手法、基準に関しては、下記参考文献4を参照。 ④2歳未満児対象。調査手法、基準に関しては、下記参考文献3を参照。</p>	フィリピン	カガヤン灌漑施設改修計画	2008年
		季節的な食料不足の改善	備蓄・貯蔵倉庫の整備	<p>①食糧備蓄量 (Mt) ②家庭で十分な食料が供給された月数 (Months of Adequate Household Food Provisioning : MAHFP)</p>	②過去1年間に十分な食料の供給があった期間を測定する指標。作成方法については下記参考文献5を参照。	バングラデシュ	食糧備蓄能力強化計画	2012年
	妊産婦・乳幼児に対する栄養サービスへのアクセス改善	妊産婦ケア、乳幼児ケア、栄養関連サービスを提供する医療施設、機材の整備	<p>運用指標</p> <p>①産前・産後健診件数、家族計画件数、予防接種件数、微量栄養素サプリメント投与数</p> <p>効果指標</p> <p>①当該医療施設カバーエリアの2歳未満児の栄養状態（発育障害、消耗症） ②同エリアの15-49歳女性の貧血症</p>	<p>運用指標および効果指標</p> <p>DHS実施国であれば、左記指標のデータが利用可能。</p>	ウガンダ	北部ウガンダ地域中核病院改善計画	2018年	

資金協力事業/開発課題別の指標例（栄養）

栄養分野には開発課題体系図（課題別指針）がないため、開発戦略目標に相当する目標を大項目、中間目標に相当する目標を中項目、中間サブ目標に相当する目標を小項目として整理している。

大項目	中項目	小項目	インフラ種別	指標作成方針・方法	同インフラ種別毎の参考案件			
					国名	案件名	評価年度	
	1-2. ヘル スケアサー ビスへのア クセス改善	栄養サー ビスを提供す る人材の育 成	人材養成校の施 設、機材	運用指標 ①学生数 効果指標 ①対象校の学生が受講する実習時間に占める、対象 校の通常開講時間内に行われる実習時間の割合 ②対象校学生の国家試験合格率		モーリタニア	国立ヌアク ショット公衆 衛生学校拡 張・機材供与 計画	2016年
	1-3. 衛生 環境の改善	口に入るま で安全な質 の飲料水と 衛生施設へ のアクセス	給水・衛生施設の 整備	①対象地域における給水人口（安全かつ十分な水に アクセスできる人口） ②水因性疾患リスク（発生件数または割合）の減少 ③女性及び子どもの水汲み労働の軽減（水汲みにか かる時間、距離、頻度）	①水・衛生省が定める地方における給水量の基準（35 リットル/人日）およ び水質基準を同時に満たす人口。稼働している公共水栓の裨益人口より算出 する。 ②学校と保健施設でトイレが整備、利用され、衛生状況が改善することと、 給水設備建設と衛生習慣改善が連携することによる相乗効果が要因となる。	セネガル	農村地域にお ける安全な水 の供給と衛生 環境改善計画	実施中
	1.4 財政支 援を通じた 栄養改善政 策等の実行 支援	対象地域に おける Stunting（発 育障害）率 の削減		運用指標 ①政策アクションの達成状況 効果指標 ①対象地域において、最低食事水準を満たす 2歳未満児の割合 ②対象地域において、24 時間以内に動物性タ ンパク質を含む食品を摂取した2 歳未満 児の割合 ③対象地域において、栄養改善に必要な三つのサービ ス（適切な食料の入手・消費、保健医療・衛生、及び、乳 幼児ケア）にアクセスのある2 歳未満児の割合		ルアンダ	農業変革を通 じた栄養改善 のための 分野 別 政策借款	2023年 （予定）

参考文献

1	WHO. 2008. Indicators for assessing infant and young child feeding practices: conclusions of a consensus meeting held 6–8 November 2007 in Washington, DC, USA. Geneva, WHO. Available at:
2	WHO. 2010. Indicators for assessing infant and young child feeding practices. Part 2-Measurement. Geneva, WHO. Available at: https://apps.who.int/iris/bitstream/handle/10665/44306/9789241599290_eng.pdf?ua=1 (accessed 14.02.2022)
3	Swindale, A. & Bilinsky, P. 2006. Household Dietary Diversity Score (HDDS) for Measurement of Household Food Access: Indicator Guide (v.2). Washington, D.C., FHI 360/FANTA. Available at:
4	FAO/FHI 360. 2016. Minimum Dietary Diversity for Women: a Guide for Measurement. Rome, FAO. Available at: www.fao.org/3/a-i5486e.pdf (accessed 14.02.2022)
5	Swindale A. & Bilinsky, P. 2010. Months of Adequate Household